



### 学生視点で大胆な解決策提案

**山** 形大学の1年生30人が1月26日（土）に虹のプラザリハーサル室で研究発表会を開き、豪雪地・大石田町が抱える課題について学生目線の地域振興策を提案しました。

町と山形大学は平成27年に地方創生に関する覚書を交わしていて、学生らは「雪国で考える」をテーマに継続的に町を訪れるなどして考えた、観光ツアーや雪解け水を使った水力発電など7つの解決策を、参加した町民に向けて提案しました。発表会のあと、学生らは駒籠地区でひっぱりうどんを食べ、午後には除雪ボランティア作業も行い、地区住民と交流しました。

### 青少年健全育成町民集会

**大** 石田町青少年健全育成町民集会が2月17日（日）に虹のプラザ多目的ホールで開かれました。これは地域の子もたちの健やかな成長を見守ろうと、町青少年育成町民会議が毎年開いているものです。

集会では、オープニングアトラクションとして、大石田中学校の1年生が動画やスライドを使った町の歴史や産業の紹介と合唱を披露し、県高校家庭クラブ連盟の高校生が研究発表を行いました。その後、いじめ防止標語優秀作品の表彰と、町内の小学年生児童が家族への感謝の気持ちをテーマに書いたエッセイの優秀作品の発表と表彰が行われ、児童による優秀作の披露に会場からあたたかい拍手が送られていました。



最優秀賞「大好きなじいちゃん」を発表する高橋心陽さん(大石田南小)



### 福祉生きがい講座で地域を学ぶ

**社** 会福祉協議会が主催する「福祉生きがい講座」が、虹のプラザ中会議室で開催されました。

初回は12月18日（火）に「共助除雪で地域づくり」をテーマに、講師の二藤部久三さん（四日町）が除雪ボランティアの取り組みが地域の人同士・地域と町外のボランティアとのつながりを作るきっかけになっていると説明。また、雪かきの前に体を温める「雪かき体操」を紹介しました。1月17日（木）に行われた第2回の講座では「出羽三山参詣の川の口大石田」と題して、大石田町郷土史研究会会長の小山義雄さん（四日町）が江戸時代にブームとなった出羽三山参詣と当時の大石田町の様子をユーモアたっぷりに語りました。



### 寸劇で交通ルール再確認

**今** 年度最後のかもしかクラブ交通安全教室が2月6日（水）にふたば横山保育園で行われ、園児が交通のルールを寸劇で再確認しました。劇は町の阿部交通安全専門指導員と尾花沢市・村山市の指導員によるもので、3人が流行のギャグも交えてユーモアたっぷりの演劇を披露しました。劇には信号の前できちんと止まること、道を渡るときは左右を確認すること、不審な人についていけないことなど、今年1年間に学んだ内容が盛り込まれていて、子どもたちは時折笑い声を上げたり、子どもに扮した指導員が不審者役に連れて行かれそうになると「助けて」と大きな声で一緒に叫んだりして、学んだ交通ルールを楽しく再確認していました。



### 節分豆まきで鬼退治

**節** 分の豆まきが大石田保育園で2月1日（金）に行われました。おゆうぎ室で節分のお話の読み聞かせが行われたあと、園児らは雪が降るなか手作りの鬼の面をかぶって保育園の外へ出ると、それぞれが退治したい「ねぼすけ鬼」や「おこりんぼう鬼」などをイメージしながら「鬼は外、福は内」の掛け声で元気よく豆を投げました。

さらに園舎の陰から赤鬼と青鬼が登場すると、園児らは残った豆を思いっきり投げつけ、園児の気迫に鬼たちはたちまちに退散していました。



### 雪国ならではの遊びを満喫

**ふ** たば児童センターで2月8日（金）から10日（日）の3日間、東京都墨田区の児童館の子どもたちを招いて「雪国体験活動」が行われました。児童センターのグラウンドに設置された巨大かまくらに入ったりスノーチューブスライダー、雪合戦や雪像作りなど、雪国ならではの遊びで雪を楽しみました。

また9日（土）の夕方には、ゆきんこフェスティバルとして焼き芋や肉そばなどの出店も並び、町内の子どもたちや地域の方も参加して雪上の遊びを楽しんだほか、幻想的な冬の花火の打ち上げも行われ、大石田の冬を満喫していました。

